



一度行ったらやめられない “Abelujo”

バイオ工学専攻（元工学分館長）

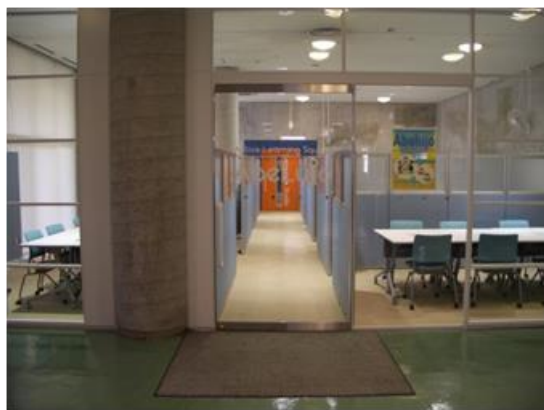
正田 晋一郎

分館のゲートを通ると、奥の方に Abelujo と書かれた扉が見える。まずは中に入ってみよう。

Abelujo（アベルーヨ）とは、エスペラント語で「養蜂箱」の意。人が集まってアクティブに活動する場というイメージから名付けられた。学生がさまざまな情報を適確に収集し、自己研鑽するのに相応しい名称だ。Abelujo はふたつのエリアからなる。手前が仲間と情報交換するグループ学習エリア。その奥にあるのが Language Studio（語学自習エリア）だ。

「工学英語」に演習プログラムを組み込み、語学環境を利用した“自習”の習慣を涵養する。20 の個別ブースがあり、ヘッドセット付き PC によるネットワークを利用した ALC NetAcademy2, TOEFL・TOEIC 試験用の学習教材（図書・CD）が用意されている。

Abelujo は工学研究院の支援により 2015 年に工学分館内に設置された。工学系の図書館としてはユニークな施設だ。なぜエスペラント語なのか。それは英語はもとより、より国際的、多言語、多文化の普及の補助的な役割を意識したからである。エスペラントの名を冠した工学系図書館は、世界でもここ青葉山ただ一つだろう（おそらく）！！



Abelujo の広い空間で友達との会話も弾む



充実した設備を誇る Language Studio

